

緑友会の2007年を振り返る

緑友

全国印刷緑友会
http://www.greenfriend.jp/

今後の行事予定

2008年1月26日(土)
第3回グループ長&常任会議
(大阪)
2008年5月17日(土)
平成20年度 全国印刷緑友会
第51回神奈川総会

発行: 全国印刷緑友会
責任者: Y-ING やまなし情報メディア研究会
井上雅博
編集人: Y-ING やまなし情報メディア研究会
齊藤理

FAX不要の方はこちらへご連絡下さい
masatomo@kobundo.net

金沢総会の総括

金沢青年印刷人クラブ
金沢総会実行委員長 田中俊也



5月26日 新常任幹事の面々(一部)

金沢総会に起こし頂いた皆さんその節は本当にありがとうございました。実行委員長をいたしました田中です。50回目の節目の総会でした。これからの50年を模索する総会でもありました。今から思い起こせば、金沢21世紀美術館との交渉や、いかにして登録費を抑えるかといった相談も懐かしく、楽しかったなと思っております。実際はほとんど準備らしいこともさほどなく残り1ヶ月間であつたこととだけ、朝飯前のことでした。でも金沢の地で藤田さんから岩重さんへの引継ぎが行われたことは光栄であり、



実行委員長挨拶

老後の自慢話にでもしてやると思っています。森田さんや後藤さんの計らいで懇親会の最後に金沢メンバーに胸上げをしてもらいました。落とせ!の願いもかなわず、気持ちよく宙を舞いました。ありがとうございました。

千代田の長~い常任幹事会

広島青年印刷研究会 福田信彦

12月22日(土)世の中はクリスマス一色なのに、急遽東京で常任幹事会が開かれました。私が呼ばれたのはプリントネクスT・記念誌・緑友基金についての古い話をするためでした。

ン会議は私のチャチが原因かもしませんが、緑友では会員の総意が原則なので、一定の時間議論をすれば多数決というわけに行きません。そこで重要になってくるのがブロック担当常任です。各ブロックに情報を流しながら、出てきた意見を常任幹事会に戻し、異論があれば協議するといふキャッチボールをしなればなりません。こんな苦労も長い会議の後の懇親会が癒してくれます。

常任幹事会で喧喧諤諤の議論をしても、酒が入れば様々な情報交換が始まります。残念ながら私用のためこの日は参加出来ませんでした。が、名舌言えめいたんでいから始めて4軒のはし、最後はラーメンと餃子でメタそうです。

それにしては緑友の常任幹事会は大変だ。12時から始めて15時にやると第3号議案、10号までにはほど遠いスピードです。もっとも、このロングラ

師走の連休に自腹で東京にむさい男達が集まってくるのは、それなりの理由があります。・友人達に会える・緑友が面白い・新しい情報をいち早く知ることが出来る・旨いものが食える・飲みに行ける・美女に会える・等々目的の個人差はありますが、楽しいものです。



幹事会のような

臨時常任幹事会に寄せて
Y-ING やまなし情報メディア研究会 井上雅博
去る12月22日土曜日、三つの視点だ。東京は神田にある千代田印刷会館の会議室をお借りして、開催することができた。

一般的にイベントは、参加するだけよりも企画から参画したほうが、得るものは大きい。役得っ

謝しつつ、そんな時代のリーダーシップをとれるよう研鑽していきたいものだ。日日は好日。

編集後記

今年、建築・賞味期限・派遣の偽装・社保庁や厚労省、防衛省など、いろいろな物や事が破綻した年でした。時流を追い求めている人にとって、世の中の動きはスピード感を増し続けていて、身体がついて行けなくなっている気がします。我々、企業経営者は、こんな時こそ、表面上の数字に踊らされることなく、どんな企業にしたいか、どんな企業にしたいか、その実現には何が必要なのか。冷静に分析し、運営していくことが、大切ではないでしょうか。『吾唯知足』。わたしたちを苦しめる。欲望を追い求めても、幸せになれない。幸せな人は、どうなれば幸せなのかを知っているものなのです。

新役員が変わってからは、半年余りが過ぎ、なんとなく流れでやってきてしまったことの確認や、積み残したことの今後の予定、なんかが話し合えたと思う。年末の忙しい時にも関わらず、全国から、大勢の常任幹事が集まったことに、まずは、有難く、感謝します。で、改めて、さすが、緑友会の仲間志は高いなあ、と、感じられた。今年の緑友会にとっての大きなトピックの一つは、年間のイベントを元の三回制に戻す、という決断だったと思う。今後多方面に、良い影響が出るに違いない。そして、イベントが、どうあるべきかを考える機会にしてほしい。小生の考えるポイントには、参加者の視点、主管者の視点、業界人としての視点の

そんなことを大切にすれば、きっと2008年は良い年になることに違いない。日日は好日、と言いつつ、(徹熊)

リレーエッセイ

岐阜の地

全国印刷緑友会
書記担当常任 石神修司
(ぎふ印刷翠陽クラブ所属)

緑友会の皆様、こんにちは。岐阜の石神です。来年9月13日(土)に開催されます第50回岐阜大会及びぎふ印刷翠陽クラブ創立50周年記念式典に多くの方に岐阜の地へお越し頂きたく、この場をお借りしまして、少し岐阜の地を紹介させていただきます。

岐阜の「岐」は、中国の「岐山」にちなんで付けられています。周の文王はこの山で立ち上がり、八百年の太平の基を築きました。岐阜の「阜」は、中国の「曲阜(きょくふ)」にちなんで付けられています。曲阜は、学問の祖、孔子の生まれた地であります。太平と学問の地「岐阜」であれという熱い願いでした。織田信長は、その説を生かして城下の井之口村を岐阜町と改め、天下統一の拠点として全国にその名を広めました。金華山山頂に立つ信長公ゆかりの岐阜城は必見です。

また、岐阜は自然に恵まれた地であり、岐阜市の中央を流れる清流長良川では5月~10月まで鶴船が行われます。暗闇に満ちた水面にかがり火を焚いた鶴船がゆっくりと現れ、鶴が鮎を捕らえる様子を眺める事ができます。目の前で、勇壮な歴史絵巻が繰り広げられ、幽玄の世界へと誘います。こちらも必見。まだまだ紹介したいのですが、後は9月13日に岐阜へ来て頂いた方のみこっそりお教え致します。是非お越し下さいませようお願い申し上げます。



岐阜城



長良川の鶴船

誰でも希望があれば参加できる常任幹事会。あなたも参加してみれば人生が変わるかもしれませんよ。